

歯科法人における新型コロナウイルス感染対策

勤医協歯科では標準予防策（スタンダードプレコーション）に基づいた感染対策マニュアルを作成して安心・安全の歯科医療を目指し、待合室、診療室では定期的な換気や必要な消毒・滅菌を行い、また下記のチェックリストにあるようにスタッフの健康管理と感染対策も徹底するようにしています。患者のみなさまには来院時マスクの着用、健康チェックや体温測定にご協力いただいております。日本歯科医師会から発行されている「みんなで安心マーク」（新型コロナウイルス感染症等防止対策実施医療機関）を取得し、感染防止対策を励行しています。

No.00000000

感染症対策実施 歯科医療機関



日本歯科医師会PRキャラクター
「よ坊さん」

みんなで安心!!

当院は新型コロナウイルス感染症対策
チェックリストに沿った対策を実施しております。



「みんなで安心マーク」の詳細情報はこちらから

公益社団法人 日本歯科医師会
Japan Dental Association

にっし歯科

院内における新型コロナウイルス 感染症対策チェックリスト

- ☑ 職員に対して、サージカルマスクの着用や手指消毒が適切に実施されている。
- ☑ 職員に対して、毎日の検温等の健康管理を適切に実施している。
- ☑ 職員が身体の不調を訴えた場合に適切な対応を講じている。
- ☑ 患者、取引業者等に対して、マスクの着用、手指消毒を適切に実施している。
- ☑ 発熱患者に対しては、事前に電話相談等を行い、帰国者、接触者センターまたは対応できる医療機関へ紹介する等の対応を講じている。
- ☑ 待合室で一定の距離が保てるよう予約調整等必要な措置を講じている。
- ☑ 診察室について飛沫感染予防策を講じるとともに、マスク、手袋、ゴーグル等の着用等適切な対策を講じている。
- ☑ 共用部分、共有物等の消毒、換気等を適時、適切に実施している。
- ☑ マスク等を廃棄する際の適切な方法を講じている。
- ☑ 受付における感染予防策（遮蔽物の設置等）を講じている。
- ☑ 職員に対して、感染防止対策に係る院内研修等を実施している。
- ☑ チェアの消毒や口腔内で使用する歯科医療機器等の滅菌処理等の感染防止策を講じている。

公益社団法人 日本歯科医師会
Japan Dental Association

協力厚生労働省

口腔ケアと感染予防

口は体の入り口で、常に多くの細菌が存在しています。口の中には唾液による免疫機能がありますが、プラークや舌に付く舌苔などの汚れが溜まり、口の中の環境が悪くなると、免疫の働きが悪くなります。つまり逆に言えば、口の中を歯磨きなどの口腔ケアできれいな状態にしておくと、唾液による口腔の免疫をアップさせることができるのです！

インフルエンザは歯磨きなどの口腔ケアを行うことによって、感染のリスクが下がることがわかっています。また、口の中の細菌によって起こる誤嚥性肺炎も口腔ケアによってリスクを下げることもできます。口腔ケアが新型コロナウイルスの感染のリスクを下げる根拠が日本歯科医師会から報告されており、口腔ケアで口の中の環境を整えることは口の中の免疫力をアップさせ、新型コロナウイルスの感染予防につながる可能性が考えられます！！ 手洗い、うがいだけでなく、歯磨きや歯科医院での定期的なクリーニングなどの口腔ケアが非常に大切です。